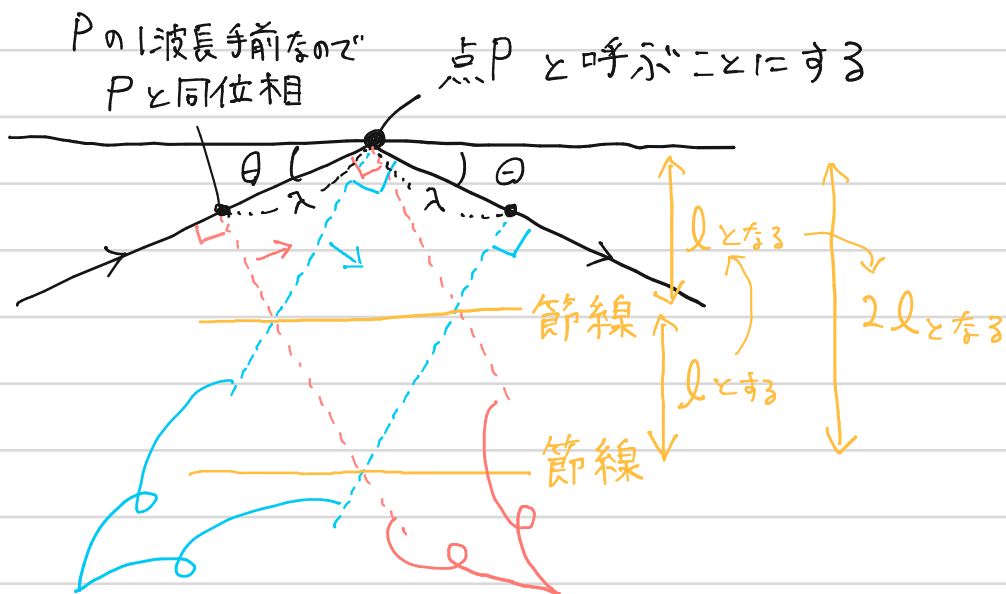


229

作図のポイント

- ・ 波の進む向きと波面は 90°
(波面は同位相を結んだ線)
- ・ 固定端は必ず節
- ・ 角度の追跡のコツ
平行直線、 90° 、 180° を意識

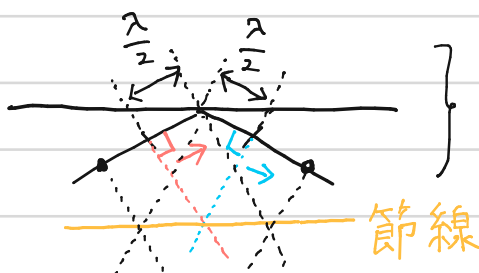
それぞれの線と、 λ 、 2λ を解釈する



反射波におけるPと同位相の波面
(進行と 90°)
(矢印は波面の進む向き)

入射波におけるPと同位相の波面
(進行と 90°)
(矢印は波面の進む向き)

この二本が重なる場所は、元々同位相だった波の一方がPで位相が反転した状態で重なっている
⇒媒質の変位0の点となる

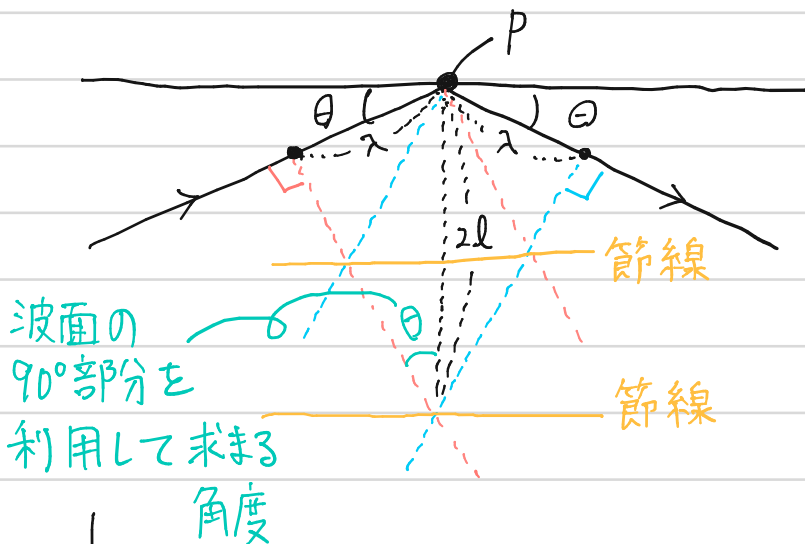


そして
入射した波面なら、どこでも同様に逆位相の波が重なるので媒質の変位0の点となる
⇒節線が書ける

229 続き

(ア)

問いで聞かれている長さの検証をする

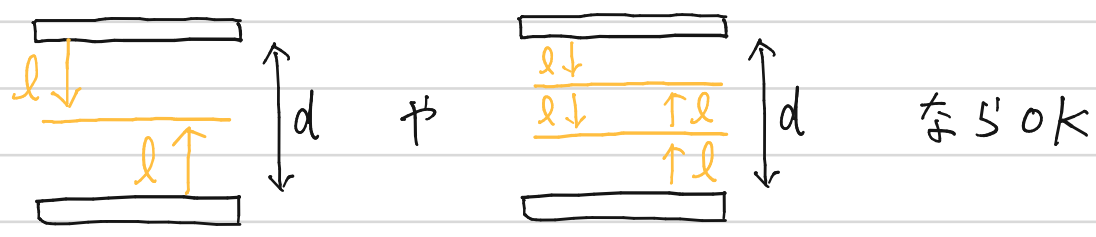


$$\sin \theta = \frac{\lambda}{2l} \quad \therefore l = \frac{\lambda}{2 \sin \theta} \quad \#(ア)$$

(イ)

定常波のできる条件

→ 上面の反射で作る節線と、下面の反射で作る節線が一致すること。



⇒ $d = m \lambda$ といえる (左図は $m=2$, 右図は $m=3$)

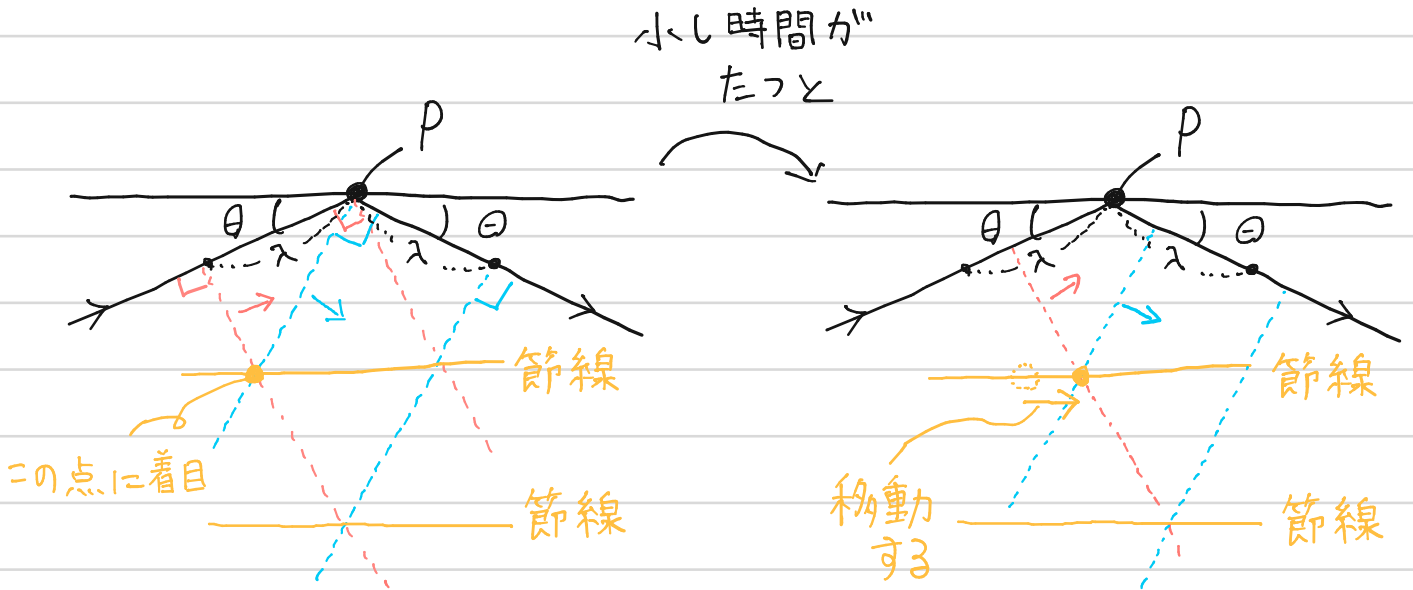
(ア)の式を代入して

$$d = m \frac{\lambda}{2 \sin \theta} \quad \#(イ)$$

229 続き

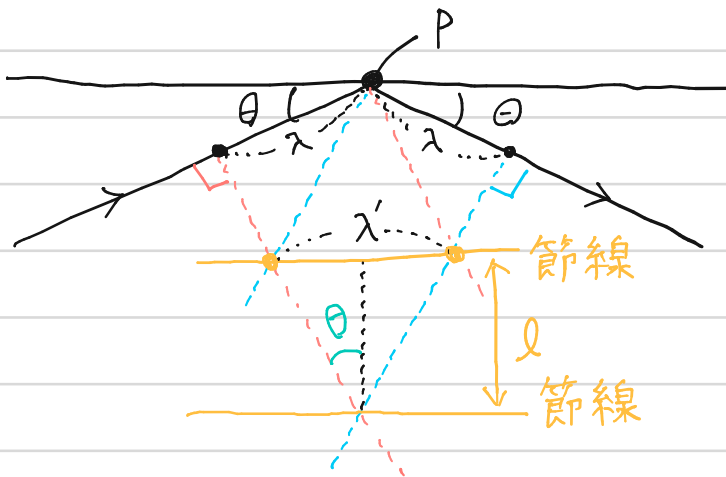
(ウ)

λ' の解釈をする



ここで、入射波、反射波の周期 T [s] だけ時間が経過したときの、● 点の移動量を λ' としている。

⇒ 下図のように λ' が書ける。



図より

$$\tan \theta = \frac{\lambda'}{2l}$$

$$\Rightarrow \lambda' = 2l \tan \theta = 2 \cdot \frac{\lambda}{2 \sin \theta} \tan \theta \therefore \lambda' = \frac{\lambda}{\cos \theta} \quad (\text{ウ})$$

229 続き

(工)
(1) 式 $d = m \frac{\lambda}{2 \sin \theta}$ と (ウ) 式 $\lambda' = \frac{\lambda}{\cos \theta}$
を連立する。

⇒ (1) 式を変形して

$$\sin \theta = m \frac{\lambda}{2d}$$

(ウ) 式を変形して

$$\cos \theta = \frac{\lambda}{\lambda'}$$

$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ に代入して θ を消去

$$\left(m \frac{\lambda}{2d}\right)^2 + \left(\frac{\lambda}{\lambda'}\right)^2 = 1$$

$$\frac{m^2 \lambda^2}{4d^2} + \frac{\lambda^2}{\lambda'^2} = 1$$

$$\frac{\lambda^2}{\lambda'^2} = 1 - \frac{m^2 \lambda^2}{4d^2}$$

$$\frac{1}{\lambda'^2} = \frac{1}{\lambda^2} - \frac{m^2}{4d^2}$$

$$\frac{1}{\lambda'^2} = \frac{4d^2 - m^2 \lambda^2}{4d^2 \lambda^2}$$

$$\lambda'^2 = \frac{4d^2 \lambda^2}{4d^2 - m^2 \lambda^2}$$

$$\therefore \lambda' = \frac{2d}{\sqrt{4d^2 - m^2 \lambda^2}} \lambda$$

(工)

(オ)

λ が最大のとき、できる節線の数は 0 となる。これは (1) の図において $m=0$ のときといえる。そして、 $\sin \theta$ の最大値は 1 であるから、

(1) 式 $d = m \frac{\lambda}{2 \sin \theta}$ を変形した式 $\lambda = \frac{2d \sin \theta}{m}$ より

$$\lambda_{\max} = \frac{2d}{1} \text{ (オ)} \leftarrow \text{壁に垂直にぶつかり定常波を作るモデルである。}$$

※ 光波の問題というより、平面波の干渉の問題である。